

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2020年4月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

新型コロナウイルス災害

各地で電話相談会

帯広は4月28日 道生連本部は毎日 相談は深刻

「先行きが見えない…」融資・生活相談相次ぐ

帯広 新型コロナSOS緊急そうだん110番



4月28日(火) 帯広民商、帯労連、日本共産党帯広市議団は「新型コロナSOS緊急そうだん110番」を実施。午後1時半から午後7時までで行い30人から商売・労働・生活相談が寄せられました。

自営業者からは「歓送迎会シーズンだったが、キャンセル続きで収入源がない」(飲食)、「資金繰りをどうしたいか」(清掃業)、「6月から現場が止まるかもしれないから、融資や雇用調整助成金を受けたい」(建設業)、「外国人労働者の派遣紹介ができず、売上がない。融資や家賃補助について詳しく聞きたい」(労働者派遣業)、「従業員に給与が払えない。退職させるか借入でつなぐしかないのか」(学習塾経営)など、多くが持続化給付金や北海道と帯広市の休業補償について問い合わせでした。

生活相談では「自分も妻も収入がかなり減った。受けられる補償があるのか」「3月末に解雇された。固定資産税や水道料金など滞納している」「失業して収入がない。生活費やローン返済どうしたら…」と深刻な相談が寄せられ、緊急小口資金や就学援助、公共料金の分納を勧めました。

多くの中小業者が終息の目途が立たない新型コロナウイルスに不安を抱える中、景気が回復するまで商売を維持しようと必死です。また、今回の電話相談で生活に関する相談が多く寄せられ、「今後の生活が不安…」といった声があがっています。

(「おびひろ民商」より)

## 「新型コロナ」チラシ、3000枚配布 深刻な電話相談、相次ぐ！

道生連は、「新型コロナで困っていませんか」「まずは、ご相談下さい」のビラを作成、単組の活用が始まりました。道本部班は、本部事務所周辺の約3400戸を宣伝地域として、11人で「なんでも相談会」のチラシを配布しました。ビラ配布後、連日、相談の電話が鳴っています。

「昨日ビラが入っていたので電話しました。実は、5月6日で仕事がなくなってしまいます。その後の生活の相談にのってほしい」、「デイサービスを経営しています。4月は去年と比べて30%も収入が減っています。国は50%減ったら100万円給付と言っていますが、私の場合は、この制度使えませんか」。

「仕事が減ってしまった。お金が借りられると書いてあるが、どこに行ったら借りられるのか」、「夫が仕事を辞めさせられた。私は小さな子どもがいて働けない。これからの生活をどうしたらよいか」、「申請書がそこにあるなら、取りに行くので解説してほしい」など、4月30日時点で10数件の電話相談がありました。中には、生活保護を申請することになった方もいます。(道生連ニュース「ふくしの窓」4月30日号より)



## 電話相談会お知らせ

5月2日、3日 新型コロナ労働・生活総合ホットライン

さっぽろ青年ユニオン

両日とも13時～20時 ☎080・3262・6023 (無料)

6月11日(木) 暮らしのSOS なんでも電話無料相談

雇用・暮らし・SOSネットワーク北海道

10時～16時 ☎080・0080・0058 (無料)